

## 1. 業務名

気候変動・大気質研究プログラムにおける観測・モデリング・解析に係る研究

## 2. 所属

(ユニット名) 地球システム領域

## 3. 募集人数

1～3名

## 4. 業務の内容

「地球の気候と大気質を安定化させる 2°C/1.5°C 目標の実現に貢献することは、科学コミュニティが挑戦すべき新たな課題である」との認識のもと、国立環境研究所「気候変動・大気質研究プログラム（正式名称：気候と大気質の安定化に向けた科学的基盤を与える研究プログラム）」（プログラム総括：谷本浩志）では、地球システム領域から合計 40 名超の研究職員を中心に、社会システム領域、地域環境保全領域、環境リスク・健康領域、気候変動適応センターからも研究職員が参画し、20 名弱の特別研究員を擁して、研究開発を進めている。具体的には、地球規模の気候変動や大気汚染問題の原因物質である温室効果ガス（GHG）や短寿命気候強制因子（SLCF）について、国および都市レベルのインベントリを定量的に評価することで削減効果の検証を早期に行うとともに、最新の排出量推計等を考慮したモデリング研究により、気候や大気質の変動に関する再現や将来予測を高精度化し、今世紀後半に温室効果ガスの人為起源排出量を実質的にゼロにする長期目標に向けた緩和策等の世界の気候変動に関する政策決定に必要な知見を提供することを目的としている。

本プログラムは、

プロジェクト 1：地球規模における自然起源及び人為起源 GHG 吸収・排出量の定量的評価（プロジェクトリーダー：伊藤昭彦、中岡慎一郎）

プロジェクト 2：地域・国・都市規模における人為起源 SLCF 及び GHG 排出量の定量的評価（プロジェクトリーダー：町田敏暢、谷本浩志）

プロジェクト 3：最新の排出量評価等を考慮した気候・大気質変動の再現及び将来予測の高精度化（プロジェクトリーダー：小倉知夫、池田恒平）

の 3 プロジェクトからなり、それぞれの

- ・地球観測データの複合利用により、地球規模における GHG 吸収・排出量の推計システムを構築する
- ・地域・国・都市規模における人為起源の GHG 及び SLCF の排出量の評価の方法論を確立して定量的評価を行う
- ・最新の排出量データをもとに気候や大気質の変動の再現や将来予測を高精度化するとともに、猛暑や豪雨、大気汚染等「ハザード」に関する基礎データを取得する

といった取り組みを通じて、パリ協定の GHG 排出削減目標達成度を評価するグローバルストックテイクや、IPCC の次期評価報告書に向けた活動で新たに始まる SLCF の国別排出量の推計及び検証など、世界の気候変動に関する政策決定に必要な科学的基盤を提供し、地球の気候と大気質を安定化させる

1.5℃目標の実現に貢献することを目指している。

そこで本公募では、プログラム総括並びにプロジェクトリーダーのガイダンスのもと、上記の3プロジェクトのいずれかまたは複数にまたがる研究テーマに従事し、気候変動・大気質研究プログラムが目指す目標の達成に向けて、研究開発と政策貢献に関わる意欲のある人材を募集する。詳細は、ウェブサイト (<https://esd.nies.go.jp/ja/climate-air/>) を参照されたい。また、プログラム総括やプロジェクトリーダーを補佐し、プログラムの推進に関連する支援も行う。

研究テーマの例として、以下が挙げられる。

- ・モデルを使った排出量推定による GHG 及び SLCF 排出インベントリの改良に貢献する研究
- ・複数の観測データをデータベース化した上で、統合的なデータ解析に携わる研究
- ・モデルを用いて、気候や大気質変動の再現及び将来予測を高精度化する研究

## 5. 必要とされる専門分野及び資格

- (1) 採用の時点で博士号を取得していること。
- (2) 地球科学（気象学、大気化学、地球物理学等）、環境学（大気環境学、環境工学等）などの学問を修めたこと。

## 6. 選考方法

書類審査の後、面接を行い決定する。面接を行う者には別途連絡をする。

## 7. 提出書類

- (1) 履歴書（写真貼付、所定の様式を使用） 1部
- (2) これまでの研究概要（A4判2枚程度） 1部
- (3) 研究業績目録（原著論文、著書、総説・解説、口頭発表別に記載） 1部
- (4) 主要研究論文の別刷りまたはコピー（5編以内） 各1部
- (5) 研究内容に対する抱負・研究者としての抱負（A4判2枚程度） 1部
- (6) 所見を求めうる方2名の氏名および連絡先 1部

（応募書類の返却不可（選考後不採用となった場合は責任を持って処分します。ただし、不採用の場合に応募書類の返却を希望する場合は、応募時に返信用封筒を同封してください。））

なお、履歴書の職歴欄には、これまでの雇用先、雇用期間等を正確に記載してください。

また、国立環境研究所との間に雇用契約以外の契約・委嘱等の関係（共同研究、研究協力、労働者派遣、請負常駐等）がある場合は、その旨も記載してください。

## 8. 応募方法

郵送による。

（封筒に朱書きで「気候変動・大気質 PG 研究 応募書類」と記載すること。）

## 9. 応募締切

随時受付。ただし、2023年1月6日（金）以降は、適任者が見つかれば次第締め切ります。

#### 10. 待遇等

（職種）特別研究員

（雇用形態）フルタイム

（1日の勤務時間）裁量労働制

（時間外及び休日勤務の有無）有

（給与）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員給与規程」に基づき決定し支給する。

基本給：（年俸制※1/12を毎月支給）4,716,000円より

（試用期間）6箇月

（その他就業関係）「国立研究開発法人国立環境研究所契約職員就業規則」及びその他関連規程によりご確認ください。

（参考）国立環境研究所基本規程 <http://www.nies.go.jp/kihon/kitei/index.html>

#### 11. 採用予定時期

2023年4月1日以降のなるべく早い時期。

#### 12. 雇用期間

採用日より2024年3月31日まで。

なお、研究所の事業計画、勤務実績等の状況により2026年3月31日（最長更新限度）までの間に限り、年度単位での更新があり得る。

#### 13. その他

本公募は科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律第15条の2の対象業務に該当します。

※科学技術・イノベーション創出の活性化に関する法律と労働契約法第18条の通算契約期間に関しては、以下を参照してください。

<https://www.mhlw.go.jp/content/11200000/000488206.pdf>

「競争的研究費においてプロジェクトの実施のために雇用される若手研究者の自発的な研究活動等に関する実施方針」（2019年2月12日競争的研究費に関する関係府省連絡会申し合わせ）に基づき、採用後、40歳未満の者については、国立環境研究所が承認した場合には、エフォートの20%を上限として、「業務の内容」に記載の研究の推進に資する自発的な研究活動等に従事することを認めることがあります。

#### 14. 問い合わせ及び書類提出先

国立研究開発法人国立環境研究所

（住所）〒305-8506 茨城県つくば市小野川 16-2

（ユニット名）地球システム領域

(室名) 副領域長・プログラム総括

(氏名) 谷本 浩志

(TEL) 029-850-2930

(E-mail) tanimoto (半角で@nies.go.jp を付けてください。)

15. 公募番号

R05-R-005